

平成31年2月28日
北区立東十条小学校
校長 中村 都士治

弥生三月、雛人形によせて

校長 中村 都士治

草の戸も 住み替は(わ)る代ぞ 雛の家 (松尾 芭蕉)

作者が旅立ちに際して、芭蕉庵を人に譲った時に詠んだ句だそうです。住み慣れたこの草葺(ぶ)きの家も、新たな住人を迎える。次は、にぎやかな家族が越してきて、3月の節句にはお雛様も飾られるだろう。殺風景だったこの家も華やかになる、時はこうして移り変わっていくのだろう。

この句にある雛、先週から本校の玄関に飾りました。7段15体の雛人形です。ひな祭りは、いつから始まったのか正確にはわからないそうです。昔、中国では3月3日に水辺で身を清めけが穢(けが)れを払い、無病息災を願う「上巳節(じょうしせつ)」が行われ、これが遣唐使によって伝えられました。また、日本では「形代(かたしろ)」と呼ばれる紙やわら、木、土などで人間の形を作った人形(ひとがた)で体をなでて穢(けが)れを移し、川や海へ流していました。平安時代には、これらが合わさり「上巳の節会」と呼ばれる行事になったそうです。この頃、貴族階級の子供たちの間では「雛(ひいな)遊び」と言われる紙で作ったお人形遊びが流行りました。これが「雛人形」の由来と考えられ、行事の「上巳の節会」と「ひいな遊び」の雛人形が、時代を経るごとに重なり合って、今の「ひな祭り」となったようです。江戸初期の雛人形は男雛と女雛の一对を飾るだけでしたが、後期になると、今の雛人形に近くなり庶民にも広がったそうです。

雛人形は、内裏の中の紫宸殿(ししんでん)で行われる天皇と皇后の結婚式を模したお飾りで、女の子の不幸を身代わりに受けてもらい、健やかな成長を願う意味があるそうです。最上段に男雛(お殿様)と女雛(お姫様)、正確には二人一对でお雛様、お内裏様といいます。

二段目には三人官女、女雛が幼い頃からお世話役で女雛が嫁ぐ時も共にきて、結婚式では男雛と女雛をサポートしたり、お祝いのお酒を注いだりする役割があります。ですから、三人の持ち物は、長柄の銚子(お酒を注ぐ道具)、杯と三方、提子(ひさげ…長柄に注ぎ足すお酒が入っている)になります。

三段目の五人囃子は、結婚式のおめでたい席を音楽で盛り上げる役割があります。囃子(はやし)とは、「映えるようにする」「引き立てる」という意味で、「能」に関係するそうです。五人囃子は元服前の少年で構成され、太鼓、大鼓(おおかわ)、小鼓(こつづみ)、笛(ふえ)と能の音楽役である謡(うたい)があります。

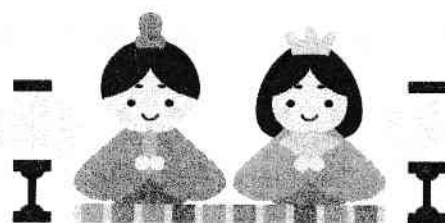
四段目の左右は、左大臣、右大臣と呼ばれている隨身(ずいしん)で、主に男雛が外出する際、お供として護衛をする重要な役目があります。左大臣が年配者、右大臣が若者で、弓矢を持ち剣をさげています。

上から五段目には仕丁(しちょう)という3人がいます。地方から出てきて無報酬で3年間、雑務に従事した人で、雛人形の中では唯一の庶民だそうです。ほうき、ちりとり、熊手などの掃除道具や立傘(たちがさ)、沓台(くつだい)、台傘(だいがさ)などの外出する時の道具を持ち、それぞれの顔が、怒ったり、泣いたり、笑ったりしているのは、表情豊かに育つようにとの願いが込められているそうです。

このようなことを知って、あらためて玄関に飾ってある雛人形を見回してみました。13体の人形は、どれも男雛と女雛を支えるために、各々の明確な役割を与えられ、それを果たそうとしている姿のような気がしました。そして、この雛人形の姿は、今月卒業を迎える6年生と重なるように思います。この1年、6年生は様々な行事やたくさんの活動の中で一人一人が自らの役割を見つけ、その役割を最後まで責任をもって果たしてきました。その行動や姿勢は、自分たちの力で自分たちの東小を支えてきた6年生の素晴らしい姿でした。

そのような6年生もうすぐ旅立ちです。次の6年生、在校生が、また新たな東小づくりに向かっていきます。正に住み替わる時期を迎えています。

この1年、本校の教育活動に温かなご支援ご協力をいただきましたPTA並びに町会、地域の皆様に心より感謝申し上げます。来年度も本校へのご理解とご厚誼のほど、よろしくお願ひいたします。



日	曜	校庭開放	3月の行事等
1	金		校門挨拶(4年) 謝恩会(6年:14:00-)
2	土		
3	日	○	
4	月		東小防災週間始
5	火		PTA総会(15:45-)
6	水		
7	木		
8	金		東小防災週間終 避難訓練 北区シェイクアウト訓練
9	土		たこづくりの集い(地域)
10	日	○	
11	月		
12	火		
13	水		
14	木		
15	金		
16	土		
17	日	○	
18	月		安全指導 5時間授業(水曜時程)
19	火		
20	水		大掃除(5時間目) 卒業式会場準備(5年放課後)
21	木	○	春分の日
22	金		2時間授業(1~4年生) 午前授業(5・6年) 卒業式予行(3・4時間目) 修了式
23	土		
24	日	○	
25	月		卒業式
26	火		春季休業日始

平成31年度 4月

5	金	春季休業日終 入学式練習(新2年) 前日準備・入学式リハーサル(新6年)
6	土	
7	日	
8	月	始業式・入学式

2019(平成31)年度の生活時程について

先月号でもお伝えしましたが、来年度、朝の学習時間を確保するために、登校時刻を変更します。今年度8時20分までの登校を8時15分と変更します。現在の時刻より5分早くなります。今年度のうちに、来年度の時刻になれるように、今からご家庭でもご指導ください。ご理解、ご協力よろしくお願い致します。

「6年生を送る会を終えて」代表委員会担当 久場 妙子

2月21日(木)3・4校時に、「6年生を送る会」が行われました。この企画・運営は、6年生からバトンを受け継ぐ代表委員会や、5年生が中心になって進めてきました。各学年で体育館を飾りつけたり、出し物や呼びかけをしたりして、6年生の卒業を祝い、これまでの感謝の気持ちを伝える時間となりました。各学年の出し物や呼びかけは、趣向を凝らしたものでありました。

その後は、なかよし班対抗クイズで1年間の思い出を振り返ることができました。最後に6年生からのすてきな出し物もあり、6年生との思い出がまた一つ増えました。

送る会の後は、「お別れなかよしランチタイム」でした。給食を食べながら、楽しく過ごしました。後半には、なかよし班のみんなから、6年生へ向けて手作りのメッセージカードのプレゼントを贈りました。

今まで最高学年として、下級生のお世話をしてきた6年生にとって、小学校生活を振り返る、楽しい思い出の一つになってくれたらうれしいです。



「みんなで長なわJUMP!」 体育主任 中島正皓

2月5日(火)に全校児童が集まって長なわに取り組みました。この日に向けて、休み時間に集まって練習している姿が見られ、各学級の熱意を感じました。記録は以下の通りでした。

年組	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1
回数	66	94	83	87	120	118	242
3-2	4-1	4-2	5-1	5-2	6-1	6-2	
214	211	239	198	194	234	199	

記録会後も練習に励み、記録を伸ばす学級が多くありました。特に、3年1組は北区の目標を大きく超え、後日271回という大記録を樹立することができました。

このチャレンジをやり遂げ、学校全体の団結力が高まったようにも思います。



「生活指導部より」 生活指導主任 林 正和

【生活目標】一年間のまとめをしよう

いよいよ平成30年度最後の一か月となりました。今年度の学習のまとめをする大切な一か月となります。また一学年進級する上で、生活の仕方や心構えを見直す期間にもなります。自分の得意なことを伸ばし、苦手なことの改善に努力する気持ちを強く持ち、四月に備えてほしいと思います。

年度末なので、順次荷物を持ち帰ります。新年度に向けて、学習道具の点検や記名等、よろしくお願ひします。また防犯ブザーの点検もお願ひします。教科書の中には、2学年にわたって使うものもあるので、ご注意ください。保護者の皆様、地域の方々には、この一年間、温かなご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。